

2024年度 公立高校入試の結果報告 <城南コベツ 行徳教室>

マークシート導入の影響

英語…語順整序「5つ塗りつぶす」 数学…数値の表し方
「見直し」がやりにくい

問題構成の変化 → 平均点が上がる

【易化】 選択問題、昨年度から 12~23%増加

※選択問題の数 / 全体の問題数

	国語	数学	英語	理科	社会
23年度	12 / 36	3 / 25	17 / 31	15 / 36	20 / 32
24年度	19 / 34	4 / 27	23 / 32	22 / 36	24 / 32
構成比	56%	15%	72%	61%	75%

【易化】 完全解答「すべて正しいときに点を与える」の減少 理科…昨年度 8問 → 1問

【難化】 国語の論述問題…「20字以上 25字以内」 → 「30字以上 40字以内」 字数の増加

記述式の解答欄…はみ出ると不正解 ← スキャンして、画面で採点するため

全体の志願動向

【出願】1.13倍 → 【志願変更】1.12倍 → 【欠席者】278人 → 【実質倍率】1.20倍 「受検者数÷合格者数」

「総合学科」が人気 小金 1.63倍、幕張総合 1.53倍

「理数に関する学科」の伸びが顕著

市立千葉 1.78倍(昨年度 1.73倍)、船橋 2.18(1.68)、柏 1.63(1.15)、佐倉 1.70(1.48) 全体でも 1.60(1.11)

「情報に関する学科」1.25倍→1.48倍、「国際関係に関する学科」1.25倍→1.43倍と上昇

普通科は昨年度の 1.15倍と変わらず、定員減を考えると実質下降

二極化

「1.50倍以上の学校・学科」が増加 昨年度 13校 15学科 → 16校 20学科

「1.00倍以下の学校・学科」も増加 57校 89学科 → 57校 93学科 全体の46%が定員割れ
二次募集、過去2番目に多い 2,259人

「公立離れ」の要因

- ・地方(5~9学区)における募集人員が多すぎる
- ・都市部では、国の授業料支援制度等により「私立志向」がここ数年顕著
- ・広域通信制高校などの多様な進路選択
- ・私立と公立の入試日程に大きな空白(1か月以上) → 「早く決めたい」、モチベーション維持が困難

1学区 [千葉市]

志願倍率 昨年度 1.27倍→1.21倍、大幅な下降

県立千葉…少数激戦 一昨年度 1.69倍 → 昨年度 1.58倍 → 1.48倍と下降傾向

2段階選抜を導入、2段階目で学力検査重視(得点を1.5倍) 【学力重視傾向】

千葉東…大幅な志願者減(100人)となった昨年度にほぼ近い 1.31倍

学校設定検査に県作成の「思考力を問う問題」を採用 【学力重視傾向】

2 学区 [船橋・市川・松戸・習志野・八千代]

志願倍率 昨年度 1.18 倍→1.21 倍、地域の偏りが大きく、今年度に限って言えば船橋地域が伸ばした

【上位校】

県立船橋・・・72 人増、2.00 倍 理数科は県内トップ 2.18 倍

薬園台・・・一時期の低迷から 1.51 倍へ上昇傾向

小金・・・大幅な減少(約 100 人)となった昨年度からやや回復し、1.63 倍

船橋東・・・昨年度とほぼ同レベル 1.59 倍、一時期の不振から脱却

八千代・・・ここ 3 年安定、1.49 倍→1.39→1.35

【船橋地域】

船橋芝山・・・121 人の志願者増で 1.57 倍、「新しい制服」

船橋啓明・・・船橋芝山を回避する恩恵を受け、62 人増で 1.22 倍

【市川・浦安地域】

国府台、国分、行徳、市川東、市川昴、市川南と軒並み志願倍率を下げた

国分は 92 人減少で、昨年度 1.53 倍→1.25 市川東も 48 人減少で 1.37 倍→1.22

【松戸地域】

小金の他にも、松戸国際(普通科・国際教養科)、市立松戸(普通科、国際人文科)は 1.50 倍前後で安定
好調な学校が多い

3 学区 [柏・流山・野田・我孫子・鎌ヶ谷]

志願倍率 1.15 倍で昨年度とあまり変化がない

東葛飾・・・志願者数を若干減らしたが、1.94 倍

昨年度学校設定検査に県作成の「思考力を問う問題」を採用 【学力重視傾向】

県立柏・・・若干の下降傾向、1.27 倍

鎌ヶ谷・・・昨年度 1.32 倍→1.43

柏南・・・昨年度 1.43 倍→1.53

「つくばエクスプレス沿線、急激な開発による人口増加と環境の変化で人気」

柏の葉・・・定員減及び昨年度の厳しい入試を嫌い、131 人の大幅な減少、それでも 1.48 倍

流山おおたかの森・・・昨年度 60 人増→87 人減少、1.25 倍 【2 校とも昨年 of 反動】

市立柏・・・2 年連続で 26 人ずつ増加、昨年度 1.15 倍→1.24

柏中央・・・柏の葉の志願者減が影響し、55 人増、昨年度 1.16 倍→1.33 倍

最後に 「公立高校入試は、実は厳しくなっている」

【1.50 倍以上の学校・学科が増加】 昨年度 13 校 15 学科 → 16 校 20 学科

【偏差値 60～65 の層】 平均倍率 1.34 倍→1.41 倍に上昇

【65 以上の層】 さらに激化、1.61 倍→1.69 倍

【中堅校】 1.20 倍から 1.30 倍の学校が多くなった

二次募集の数だけ見ると、「緩やかな」「緊張感のない」入試 ⇔ 中堅から上位は決して「緩やか」ではない